

検診車 解体マニュアル

株式会社ケイエムオー

〒379-2213 群馬県伊勢崎市五目牛町 324-5

TEL : 0270-63-0332 FAX : 0270-63-1770

2020/12/3 作成

はじめに

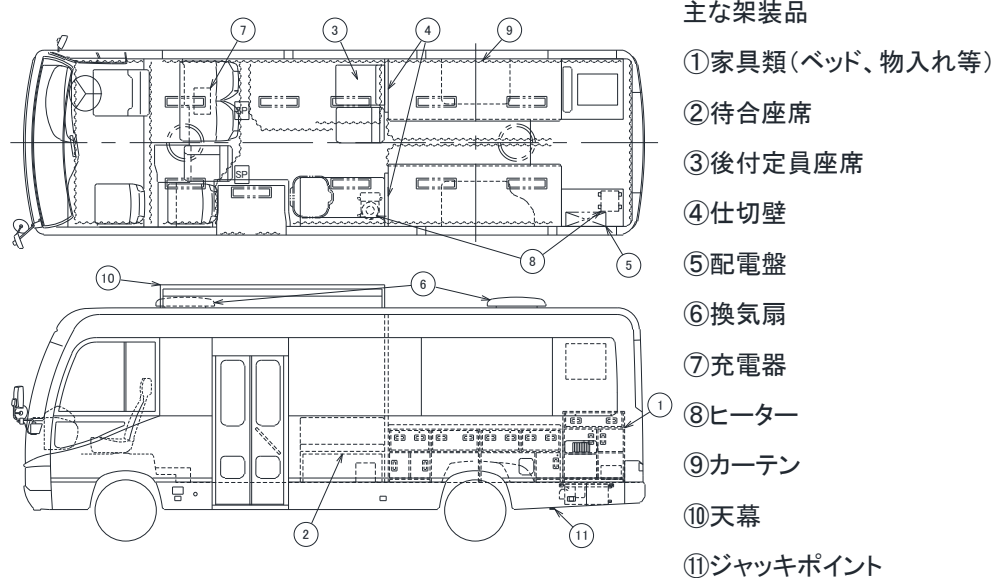
本マニュアルは、マイクロバスをベースに架装した検診車を解体する際の手順を記載したものです。作業を安全に行い、環境保全に配慮した廃材処理を遂行するために参照してください。

なお、ベース車の解体、廃棄方法に関しては、車両メーカーにお問い合わせ下さい。

注意事項

- 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用してください。作業内容に応じてヘルメット、保護メガネ、防塵マスク等を着用してください。
- 車両は解体前にしっかり固定し、安全な作業環境を確保してください。また、解体中に不安定な状態での放置は絶対にしないでください。
- 高所作業に際しては、ヘルメットを着用し、安定な足場を確保した上で、転落防止処置を行ってください。
- 解体した部品は定められた分類に従って、それぞれ適正な処理を行ってください。

心電図車のレイアウト例



解体手順

1. 内装部品の取り外し

内装部品の取り外しを行います。適切な工具を用いて作業を行ってください。

- 主にビスまたは接着剤で固定されているもの
 - ①家具類、⑨カーテン等の室内装飾品

②待合座席

生地張りされたベニヤの背当て、座面を外した後、車両側面および床面にビス固定してある座席鉄骨を取り外して下さい。

⑤配電盤、⑥換気扇、⑦充電器、⑧ヒーター、その他配線、配線カバー等
出入口折戸表面およびステップ横の手かけ
床材（ベニヤ板が床下の鉄骨に接着およびビス止めしてあります。）

● 主に溶接で固定されているもの

③後付定員座席

床下および④仕切壁に溶接されているものがあります。まず、生地張りされたベニヤの背当て、座面（それぞれ仕切壁、座席鉄骨に突起部を挿して固定してあります）を取り外してから、ボルトで固定されているシートベルトを取り外してください。溶接されている部分では切断機、サンダー等を用いて作業を行ってください。

④仕切壁

床下および天井の鉄骨に溶接されています。表面にビス固定されているアルミ板、鉄板を取り外した後、切断機、サンダー等を用いて作業を行ってください。

2. 外装部品の取り外し

外装部品の取り外しを行います。吊り上げ能力 200kg 以上のクレーンの用意のある作業場で行ってください。また、取り外しには適切な工具を用いて作業を行ってください。

⑩天幕、天幕カバー

ブラケットが天井外板（および車両内側の補強板）にリベットで固定され、天幕本体はブラケットにボルトで固定されています。クレーンで吊るした状態でボルトを外してください。

⑪ジャッキポイント

床下の鉄骨に溶接されています。切断機、サンダー等を用いて作業を行ってください。